

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語講読		
科目基礎情報								
科目番号	4A05			科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科			対象学年	4			
開設期	前期			週時間数	2			
教科書/教材	マリタイムカレッジシリーズ Let's Enjoy Maritime English : 商船高専キャリア教育研究会 (海文堂)							
担当教員	山本 健太							
到達目標								
海技免許取得および外航船員として実務遂行上必要な英語によるコミュニケーション能力の育成を目標とする。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
海技免許取得に必要な英語力が習得できる。		海技免許取得に必要な英語力が習得できる。		海技免許取得に必要な英語力がほぼ習得できる。		海技免許取得に必要な英語力がほとんど習得できない。		
外航船員として実務遂行上必要な英語によるコミュニケーション能力を習得できる。		外航船員として実務遂行上必要な英語によるコミュニケーション能力を習得できる。		外航船員として実務遂行上必要な英語によるコミュニケーション能力をほぼ習得できる。		外航船員として実務遂行上必要な英語によるコミュニケーション能力を習得できない。		
学科の到達目標項目との関係								
教養 C2 教養 C3 教養 D2								
教育方法等								
概要		本授業は、海技免許取得および外航船員として実務遂行上必要な英語によるコミュニケーション能力を育成することを目標とする。						
授業の進め方・方法		・テキストの問題や専門分野に関わりのある文章を読むことを通して、専門的な語彙や会話表現の練習に取り組む。						
注意点		免許講習引当て時間：上級英語講習 (全講義)						
実務経験のある教員による授業科目								
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス			授業の進め方について理解する。		
		2週	海事英語の語彙			海事英語の語彙を学習する。		
		3週	海事英語の語彙			海事英語の語彙を学習する。		
		4週	標準海事表現 IMO Standard Marine Communication Phrases (SMCP)			フォネティックコードを学習する。		
		5週	標準海事表現 IMO Standard Marine Communication Phrases (SMCP)			メッセージ・マーカーを学習する。		
		6週	標準海事表現 IMO Standard Marine Communication Phrases (SMCP)			航海当直交代に必要な報告事項とその表現方法について学習する。		
		7週	標準海事表現 IMO Standard Marine Communication Phrases (SMCP)			航海当直交代に必要な報告事項とその表現方法について学習する。		
	2ndQ	8週	中間試験					
		9週	聞き取り・発音			発音記号に基づいた発音練習を行う。		
		10週	聞き取り・発音			発音記号に基づいた発音練習を行う。		
		11週	聞き取り・発音			海事において用いられる様々な英語を理解する（日本人英語、フィリピン人英語、インド人英語等）。		
		12週	聞き取り・発音			海事において用いられる様々な英語を理解する（日本人英語、フィリピン人英語、インド人英語等）。		
		13週	読み・書き			航海日誌等を読み書きできるようにする。		
		14週	読み・書き			航海日誌等を読み書きできるようにする。		
		15週	読み・書き			航海日誌等を読み書きできるようにする。		
		16週	期末試験					
評価割合								
	試験	発表	提出物	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	60	20	10	10	0	0	100	
基礎的能力	40	0	10	10	0	0	60	
専門的能力	20	20	0	0	0	0	40	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	